

Ⅱ 実践編

18 感震ブレーカー (1) 説明のポイント

【知識】

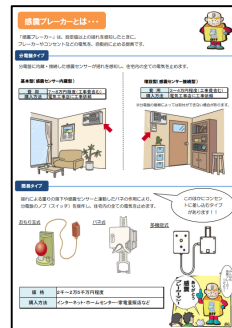
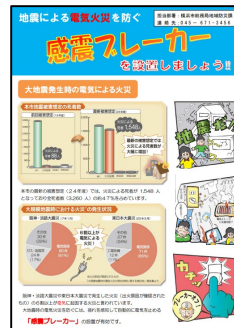
- 過去の大震災における火災の原因の6割以上（原因不明除く）が電気に関連するもの
- 感震ブレーカーとは、設定値以上の地震の揺れを感知して、自動的に電気の供給を遮断し、電気出火を防ぐ器具

【感震ブレーカーの種類】

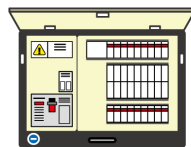
- ① 分電盤タイプ
- ② 簡易タイプ
- ③ コンセントタイプ

【感震ブレーカーの補助】

横浜市では感震ブレーカーの設置・取り付け支援、出張説明会、設置推進補助事業を行っています。（詳しくは案内チラシ、または横浜市のホームページを確認）



**感震ブレーカーを
設置しましょう!!**



Ⅱ 実践編

(2) 説明要領 ※ 参考例文になりますので、適宜修正してください。

説明例文

みなさんこんにちは。〇〇消防署の〇〇と申します。これから感震ブレーカーについて説明していきます。

さっそくですが、みなさんは感震ブレーカーってご存じですか？「感震ブレーカー」は、地震の際、通電火災の発生を抑えるのに役立ちます。横浜市の最新の地震被害想定(H24.10)では、火災による死者数が1,548人となり、前回の被害想定(H17. 3)から大幅に増加しています。そして、過去の大震災における火災の原因の6割以上(原因不明分除く)が電気に関係するものとされています。本市においても強い地震が発生した時には、電熱器具等からの出火、また電気復旧時においては、断線した電気コード等からの出火が予想されます。

電気による出火を防ぐためには、避難時にブレーカーを遮断することなどが効果的です。しかし、大地震発生時にとっさにそのような行動がとれるとは限りません。

感震ブレーカーとは、設定値以上の地震の揺れを感知して自動的に電気の供給を遮断し電気出火を防ぐ効果的な器具です。各家庭に設置することで出火を防止し、他の住宅等への延焼を防ぐことで、被害を大きく軽減することができると考えられています。

感震ブレーカーは主に次の種類のものがあります。

一つ目は、分電盤タイプです。ご家庭の分電盤に、一定の震度を感知して電気を遮断する機能が付いたもので、基本的には全ての電気が遮断されます。電気を使用する医療器具等があるご家庭などでは、設置について注意が必要です。

二つ目は簡易タイプです。ご家庭の分電盤のスイッチに接続するもので、揺れを感知した際に、おもり玉の落下又はバネの作用などによりスイッチを落とし、住宅内全ての電気を遮断します。比較的安価なものが多く、工事が不要です。

三つ目はコンセントタイプです。ご家庭のコンセントに差し込むタイプと、既存のコンセントとコンセントを工事で取り替えて埋め込むタイプなどがあります。基本的には個別のコンセントの電気を遮断するため、電気ストーブや鑑賞魚用ヒータなどの電熱器具を接続する箇所への設置が適しています。また、コンセントに差し込むタイプの中には、アース線も接続し、疑似漏電を起こして住宅内全ての電気を遮断するもの(漏電遮断器付分電盤の場合のみ作動)もあります。

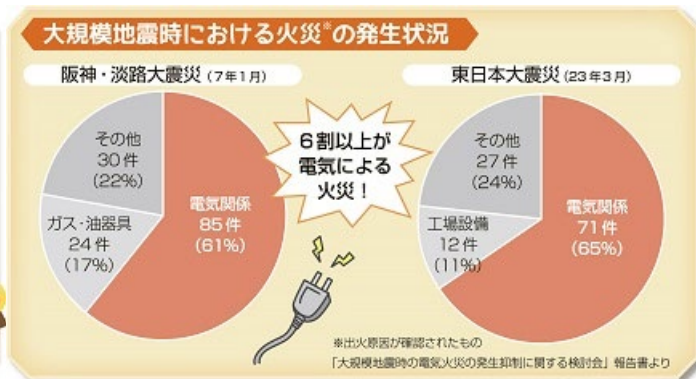
横浜市では、市内の自治会町内会には、感震ブレーカー「簡易タイプ」の購入費用の一部を補助しております。こちらは、市内全ての自治会町内会が対象です。ほかに、「横浜市密集市街地における地震火災対策計画」対象地域にお住まいの世帯を対象に、感震ブレーカー「簡易タイプ」の購入費用の一部を助成しております。申込書1枚で、感震ブレーカー器具をご自宅までお送りし、さらに、65歳以上のみの世帯等、要件を満たす世帯には取付助成も行います。こちらは、対象地域内の世帯の方のみが対象です。詳しくは案内ちらしをご覧ください。また、横浜市のホームページも参考にしてください。

Ⅱ 実践編

(3) 知識

ア 電気による火災について

横浜市の地震被害想定（H24.10）では、火災による死者数が1,548人と推定されています。また、過去の大震災における火災の原因の6割以上（原因不明分除く）が電気に関係するものとされています。本市においても強い地震が発生した時には、電熱器具等からの出火、また、電気復旧時においては、断線した電気コード等からの出火が予想されます。



明日をひらく都市

OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

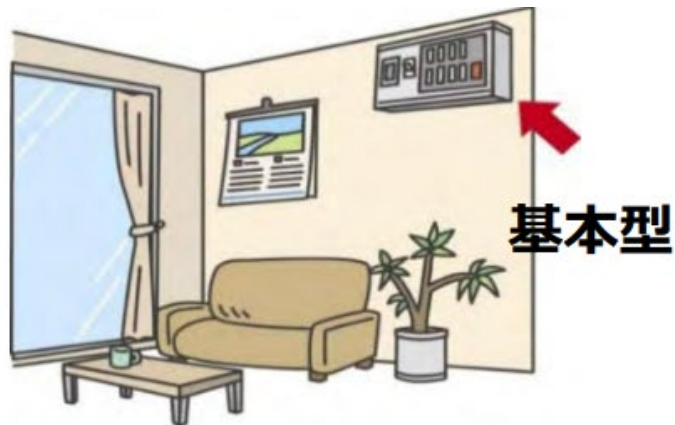
Ⅱ 実践編

イ 感震ブレーカーの種類

感震ブレーカーは主に次の種類のものがあります。

(ア) 分電盤タイプ

ご家庭の分電盤に、一定の震度を感知して電気を遮断する機能が付いたもので、基本的には全ての電気が遮断されます。電気を使用する医療器具等があるご家庭などでは、設置について注意が必要です。



Ⅱ 実践編

(イ) 簡易タイプ

ご家庭の分電盤のスイッチに接続するもので、揺れを感知した際に、おもり玉の落下又はバネの作用などによりスイッチを落とし、住宅内全ての電気を遮断します。比較的安価なものが多く、工事が不要です。

(ウ) コンセントタイプ

ご家庭のコンセントに差し込むタイプと、既存のコンセントと取り替えて埋め込むタイプ（要工事）などがあります。基本的には個別のコンセントの電気を遮断するため、電気ストーブや鑑賞魚用ヒーターなどの電熱器具を接続する箇所への設置が適しています。

ウ 感震ブレーカーの設置・取付支援について

横浜市では、「横浜市密集市街地における地震火災対策計画」対象地域（←一覧載せる？）にお住まいの世帯を対象に、感震ブレーカー「簡易タイプ」の購入費用の一部助成をしております。また、65歳以上のみの世帯等、要件を満たす世帯には取付助成も行います。

さらに、どんな機種を設置すれば良いかなどの御相談も承ります。ほかにも、対象地域内の自治会町内会を対象に、感震ブレーカー「簡易タイプ」の購入費用の一部補助をしております。詳しくは案内ちらしをご覧ください。

明日をひらく都市

OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

Ⅱ 実践編

Ⅰ 参考資料

教材等	内容	備考
防災よこはま (横浜市ホームページ)	横浜市は、大地震や台風、土砂災害などの様々な危険にさらされています。 本冊子では、こうした様々な災害に対する市民の皆様による自助、共助の取組の参考にいただくために作成したものです。	参考リンク: 防災よこはま 上記のサイトからダウンロードできます。
よこはま防災e-パーク (外部サイト)	火災、地震、風水害など、いざという時の備えを動画やミニテスト等の充実したデジタル教材で学ぶことができます。	参考リンク:よこはま防災e-パーク 手軽に学べる3分シリーズ(地震)、学習動画一覧(地震)
感震ブレーカー設置促進 (横浜市ホームページ)	感震ブレーカーの設置・取付支援などについて記載されています。 (チラシについてもこちらからダウンロード可能)	参考リンク: 感震ブレーカー設置促進

Ⅱ 実践編

(4) 予想質問

Q1 感震ブレーカーは全ての分電盤に対応していますか。

A 何を取り付けたら良いか分かりません。感震ブレーカーはすべての分電盤に対応可能ではありません。分電盤の種類によって設置が困難なことがあります。判断が難しい場合は、各メーカーへお問い合わせいただくか、訪問相談を御利用ください。

Q2 病気で電気を使用する医療器具を自宅で使用していますが、感震ブレーカーは使えますか。

A 生命の維持に直結するような医療用機器等を設置している場合、停電に対処できるバッテリー等を備えてください。

Q3 賃貸に住んでいるが、感震ブレーカーは設置できるか。

賃貸にお住まいの方は原状回復が必要となる場合があるため、貸主等とご相談のうえ、感震ブレーカーを設置してください。